

問題2 古環境学・古生物学 (100点)

以下の問い(問1, 問2)に答えよ。

問1 下図は関東平野における約6000年前の貝塚の分布を示している。貝塚の分布は過去の海岸線の分布を復元する上で有用である。完新世の相対的海水準変動と海岸線の移動に関する設問(1)～(4)に答えよ。

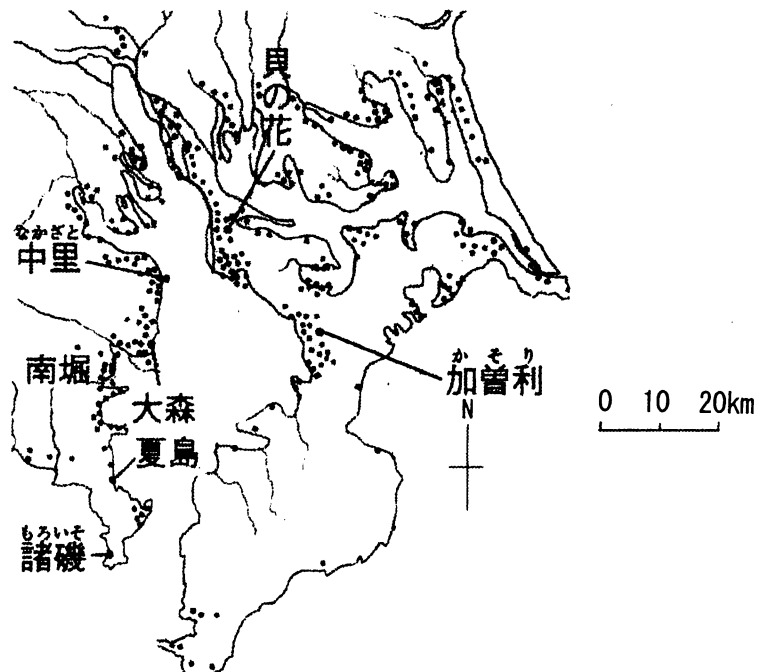


図 関東平野における約6000年前の海岸線と貝塚の分布
東木(1926), 松島(2006)などを簡略化
黒点は貝塚の分布, 名称は主要貝塚名

- (1) 貝塚の形成年代はどのようにして推定することができるか。例をひとつ示し説明せよ。
- (2) 過去の海岸線の位置はどのようにして推定することができるか。貝塚の分布以外の方法をひとつ示し説明せよ。
- (3) 過去の相対的な海水準はどのようにして推定することができるか。例をひとつ示し説明せよ。
- (4) これまでの研究結果では, 約6000年前の関東平野における相対的な海水準は現在よりも数m高かったと推定されていることが多い。これについて下記の用語を用いて説明せよ。

グレイシオアイソスタシー, ハイドロアイソスタシー, 地震性地殻変動

(次ページにつづく)